

令和元年度秋田県山本地域保健医療福祉協議会 及び地域医療推進部会 要旨

- 1 開催日時 令和2年3月18日(水) 午後5時から午後6時
- 2 開催場所 山本地域振興局庁舎 大会議室(能代市御指南町1-10)
- 3 出席委員(敬称略) ※◎は協議会委員と部会委員を兼ねる

(秋田県山本地域保健医療福祉協議会)

齊藤 滋宣、佐々木 文明、田川 政幸、森田 新一郎、◎加藤 裕治郎
◎佐久間 雅文、◎太田原 康成、田村 重由、岩村 庄英、佐藤 克、塚本 民雄
大山 陽子、石黒 祐香子

(秋田県山本地域保健医療福祉協議会地域医療推進部会)

田村 典勝、夏井 公成、佐々木 恭一、堀江 広智、石川 孝成、石岡 隆、島田 薫

協議会委員	17名中13名出席
地域医療推進部会	13名中10名出席

【資料一覧】

資料1	新型コロナウイルス感染症への対応について
資料2	令和元年度山本地域振興局福祉環境部主要事業について
当日配布	心の健康づくりボランティア活動手帳、献血チラシ 支援がつながるぱすぽーと

事務局より事務連絡

- 1 新型コロナウイルス感染症予防対策(体調不良、アルコール消毒、咳エチケット)
- 2 会議終了予定時間
- 3 配付資料確認

山本地域振興局福祉環境部 永井部長あいさつ

本日は年度末の大変お忙しいところ、令和元年度秋田県山本地域保健医療福祉協議会及び地域医療推進部会に御出席を頂き誠にありがとうございます。

また、日頃それぞれの立場での能代山本地域の保健医療福祉推進に御尽力いただいておりますことを、併せて感謝申し上げたいと思います。さて、最初に今般の新型コロナウイルス感染症についてでありますけれども、県内では2例。当管内におきましては未発生という状況でございます。

既に、医療機関の皆様方には、発熱患者さん対応につきまして大変御難儀をかけているところでありますけれども、今後とも、医療機関はじめ関係機関との連携を密にさせていただきながら、引き続き対応を進めて参りたいと考えておりますので、御理解御協力のほどよろしくお願いしたいと思います。

本日の協議会では、2月に開催しました、能代山本地域新型コロナウイルス連絡会議及び、今年度の山本福祉環境部の主要事業等について御説明を申し上げたいと思います。

本日御出席の皆様には、能代山本地域における保健医療福祉、衛生及び生活環境の施策にかかる総合的な推進に向けて、忌憚のない御意見、御提言を頂きますようお願い申し上げまして、私からの開会の御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局より報告

出席者数が協会条例の定足数を満たしていることを報告。

- ・協議会委員数17名に対し出席者数13名
- ・地域医療推進部会専門員数13名に対し出席者数10名

議事 （１）新型コロナウイルス感染症への対応について

（藤里町 佐々木委員）

今後の対応について危惧している。特に4月からは新年度となり、学校等も始まる。例えば、管内に患者が出なかった場合どのように対応すれば良いか教えてほしい。また、それにより、秋田県全体あるいは管内だけの取り組みになるのか。

（永井部長）

学校閉鎖については、私たちの部門だけの対応は難しい。これは知事の決定事項であり、保健所としての回答はできない。全県一律の対応なのか、圏域ごとになるのかについても、はっきりとした方針等は示されていない。

（三種町 田川委員）

欧米でかなり流行しており、国内の新たな感染者は帰国者が多い印象を受けている。帰国者の管内への入り込みは把握できるのか。

（永井部長）

欧米等からの帰国者については、2週間の健康確認が義務づけられており、検疫所において把握していると考える。

健康確認については、検疫所から県に連絡があり、圏域の在住者であれば我々が健康を確認することになる。

（八峰町 森田委員）

春休みということで、感染者が発生している地域から学生等の往来の増加が予想されるが、相談等はあるか。

（永井部長）

発熱等がある場合、帰国者接触者相談センターにご相談頂き、帰国者接触者外来での対応が必要と判断されると保健所に連絡が来る。渡航歴や国内旅行歴などを確認し、怪しいケースについてはPCR検査を行う。

（薬剤師会 佐久間委員）

検査件数の把握はできているのか。

（永井部長）

直接、民間に検査を依頼できるルートも示されているが、本県ではPCR検査のキャパシティをオーバーするような状況にはない。当面、保健所を経由したPCR検査を行うと考える。

（森岳温泉病院 島田委員）

県医師会の立場から申し上げますと、検査は民間でも行えるが、県内での検査体制は整っておらず、県外機関に依頼すると、一定の数日を要することから現実的ではない。実質は行政検査のみになる。

議事 （２）令和元年度山本地域振興局福祉環境部主要事業について

・質疑等特になし

その他

（能代厚生医療センター 太田原委員）

資料2の生活習慣健康状態について、私たちの地域は県全体と比較して、喫煙率が高く、飲酒の割合が高く、運動習慣が少ない。特に喫煙率は33.4%で県全体の2倍以上という危機的な状況だ。

県受動喫煙防止条例等に沿って進めていくという説明があり、期待するところではあるが、本日は地域の健康づくりを推進する立場の方々が参会しているので、抜本的な改革を期待する。

（能代山本地区老人福祉施設連絡協議会長 岩村委員）

県から高齢者施設向けの調査があり、マスクの備蓄・保管、在庫状況等に関する内容だった。その後の動きについて教えて欲しい。

（武藤次長）

国の備蓄分を各都道府県に配布するという報道もあり、国のコロナウイルス対策第2弾ということで、都道府県が購入して配布するという方針が示された。

今般、県の2月議会会期が延長になった。関連費用も認めて頂くことで詳細を検討中である。認められ次第、具体的な動きがある。